

細江区だより

令和4年3月発行

牧之原市細江1106-1
細江コミュニティセンター内
細江区事務局
TEL.FAX 0548-22-7195
HP◆http://www.hosoeku.com/



みんなの細江 あいさつを交わして つなぐ地域の輪 人の和

◆ 区長代理 中山 道博 『2年間の感謝を 皆さまに！』



区長を補佐し、区の諸行事に、皆さまが積極的に参加でき、「参加して良かった。楽しかった！」と言って頂けるように、敷居を低くした土壌づくりに始まり、環境の熟成を目指した730日間。お陰様で、細江区役員、町内会長をはじめ関係役員のご支援・ご協力により、計画された各事業（芸能祭、文化展を除く）を充実した内容で実施する事ができました。また、任期中に細江区災害対策本部を設置するような、大きな災害に見舞われなかった事にも安堵しております。振り返れば、コロナの禍（わざわい）に泣いた2年間でありました。そうした状況下に於ける諸活動へのご協力、改めて区民の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆ 区長 石神 壽万治 『コロナに翻弄(ほんろう) された2年間』



「コロナ！コロナ！」この言葉抜きでは何も始まらない昨今です。オミクロン株や新種株の出現と大変な毎日ですが、この たより がお手元に届く頃には、平穏な日々が訪れている事を願っております。生活も仕事も勉学も、そして私共に託された区の運営も揺れに揺れた1年でした。細江区の皆様、町内会長や班長さん、そして、区の役員の人達の力をお借りして“何とか時を紡いできた”。これが今年度だったと思います。大雨時の緊急出動対応、治水や地震防災に関係する事業など、僅かでしたが前へ進める事が出来ました。私も区長としての任期を終えます。これも皆様のお力添えあっての事と感謝しております。2年間 ありがとうございました。

◆ 区長代理 藤田 芳夫 『コロナの収束を祈る』



早いもので就任から2年が経ち、3月をもって、区長代理の任期を終える事ができます。区民の皆様を初め、役員の皆様のご協力により職務が遂行できた事に感謝申し上げます。2年間を振り返ってみれば、コロナウイルスの感染拡大により区の日玉行事である芸能祭と文化展、その他一部事業が残念ながら中止となりました。こうした不可抗力により中止を余儀なくされた事業には、無念を感じております。令和4年度は、コロナが収束し区の行事が果敢に実行できるように願っております。任期中は、区民の皆様には大変お世話になりました。2年間、ありがとうございました。

年度末を迎えて ご挨拶申し上げます

◆ 文化部長 池田 昭夫 『嗚呼 本年度も文化展中止』



昨年度に続き、文化部を務めました。本年度は、前年度中止となった文化展を開催する方向で進めました。区役員、教養部、文化部委員の協力のもと、ポスター作成、出展の案内等、順調に準備は進んでおりましたが、9月になりコロナウイルスの感染拡大で牧之原市の文化祭の中止が発表され、苦渋の選択として、残念ながら文化展中止の判断に至りました。令和4年度こそはコロナが収束し、文化展等が開催される事を心からお祈り申し上げます。2年間ありがとうございました。

◆ 福祉部長 荒木 繁明 『準備よければ 全てよし』



振り返れば、あっという間の2年間でした。“準備よければ全てよし”の精神でやってきました。「楽々クラブ」は、コロナの影響で例年通りの活動ができませんでした。そうした中に於いても、活動を通して会員の皆さまと共に人生のひと時を楽しく過ごす事ができました。なお、福祉部を担当して良かったと感じる機会が多々ありました事を報告させていただきます。ありがとうございました。この紙面をお読みの皆様に、これからも楽々クラブの応援をどうぞ宜しくお願い致します。

◆ 総務部長 枝村 八郎 『コロナ禍の事業の 見直しに苦心』



2年間総務部として「区だより」の発行、「各種会議」開催、会計業務等、担当させて頂きました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、事業活動の制限や中止など区の運営が大きな影響を受け、このような状況下における区の役割、事業を見直す機会にもなりました。この難関を乗り越え、より住みやすく魅力ある細江区の発展につながればと思います。任期中、皆様からのご支援ご協力を頂き、無事遂行する事が出来た事を感謝いたします。ありがとうございました。

◆ 教養部長 只井 三好 『来年度こそは 芸能祭開催を』



この2年間、教養部として芸能祭の開催を楽しみにして参りましたが、残念ながらコロナ禍による諸般の事情で中止となりました。芸能祭を、細江区の規模や趣向を凝らした内容で催行している区は、他にはありません。細江区を象徴するイベントとして定着してきた芸能祭が、感染症の影響で中止に至った事については、今でも無念至極の思いであります。芸能祭・文化展実行委員の皆様、細江セミナー学級生の皆様のご協力に感謝申し上げます。2年間、ありがとうございました。

◆ 交通防災部長 木村 友昭 『99%の達成度』



令和2、3年度において、交通防災部を担当しました。就任当時は、区の活動自体どのようなものか分からなく不安でしたが、関係者の皆様のご協力を頂き無事職務を遂行する事ができました。2年間、新型コロナウイルス感染症対策により、例年に比べ、十分な活動ができなかった事は悔いが残ります。また、コロナ禍による自粛の影響で、関係者の皆様と十分な親睦が図れなかった事も残念でした。今後も、区の益々の発展を願っております。皆様、2年間のご協力ありがとうございました。

◆ 環境部長 藤田 祐司 『住みやすい環境づくり』



環境部を2年間担当し、細江区内の環境に関する改善と美化活動の陣頭指揮を執りました。任期中における、区役員の方々からのご指導ならびに多大なるご協力は、私の人生の良き経験になりました。また、環境部の年間整備事業計画の細江区内一斉清掃、細江前浜海岸清掃などの整備美化活動も、各町内会の役員の皆様のご協力により、コロナ禍ではありましたが無事完遂できました。この2年間のご支援ご協力に、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

お 癒 れ さ ま で し た

令和3年度 細江区役員のみなさん

敬称略



細江コミュニティセンター

コロナ禍でも、3万5千人以上（年間）が利用する細江C.C.の受付窓口担当者＝写真＝上段右から大石恵子、池田美穂、下段右から三浦茂巳、大石昌也（敬称略）



撮影のため マスクを外しています

静岡県警察本部長 静岡県交通安全協会長 連盟表彰



2月9日撮影



1月7日撮影

【子供たちの安全登校を見守る小泉さん】

交通功労金賞 受賞

小泉延子さんは受賞を受けて、「私だけの力で受賞したのではなく、八木靖雄（故人）さんや尾崎常雄さん達の活発な先人の功績があつての事」と、控えめながらもパワフルに話された。取材を通して、レベルが高い小泉さんの人生観を垣間見る事ができたと同時に、同じ志を持つ者同士、価値観を共有しベクトルを合わせることが重要を感じた。

受賞者の横顔

交通安全協会牧之原地区支部榛原分会の理事と女性部役員を11年間務め、支部の運営と発展に貢献した。また、細江区の交通安全会の役員も務め、毎朝、細江小学校近くの交差点に立ち交通安全活動を推進している。これらの功労は絶大である。なお、平成28年には交安協会長表彰 銀賞を受賞している。
※交通安全協会資料より引用



【表彰状を手にする小泉さん】



【記念品のメダル】

祝

静岡県交通安全協会長表彰 銀賞 受賞者

細江区で3人が受賞

◆古川 茂さん(青池)

受賞者の横顔

交通安全協会牧之原地区支部榛原分会の理事を12年間務め支部の運営と発展に貢献した。また、細江区交通安全会の役員も務め、指定日に、細江小学校近くの交差点に立ち交通安全活動を推進している。
※交通安全協会資料より引用

◆増井 克広さん(青池)

受賞者の横顔

交通安全協会牧之原地区支部業態別分会の建設業組合選出常任理事を12年間務め、建設業組合のまとめ役として交通安全活動を推進している。
※交通安全協会資料より引用

◆大石 貴美子さん(根松)

受賞者の横顔

交通安全協会牧之原地区支部榛原分会の理事を10年間、同時に女性部役員も務めている。また、細江区交通安全会やあいさつ運動の役員も務め、指定日に、小学校近くの交差点に立ち交通安全活動を推進している。
※交通安全協会資料より引用

令和4年度『楽しくクラブ』 会員募集 (随時受付)

会費は無料

活動内容：健康講座・手芸・交通安全教室・懇親会・旅行等 楽しい憩いの場を提供します

令和4年度『細江セミナー』 学級生募集 (随時受付)

自分磨き 仲間づくり をしよう！

寄せ植え グラウンドゴルフ 社会見学 歴史ウォーキング等 関心のある事を学級生で計画 実施します

お申し込みは
細江区コミュニティセンター事務局へ
☎ 22-7195

がん検診受診率 ワースト3(令和2年度) 細江区

・元年度はワースト2

早期発見 早期治療が肝要

牧之原市 全11地区における細江区のがん検診受診率

※表は、区だより編集者が市健康推進課のがん検診受診率の集計資料をもとに作成

	胃がん			肺がん			大腸がん			子宮頸がん			乳がん		
	受診率(%)	順位	市平均(%)	受診率(%)	順位	市平均(%)	受診率(%)	順位	市平均(%)	受診率(%)	順位	市平均(%)	受診率(%)	順位	市平均(%)
令和元年度	9.8	ワースト4	11.1	18.5	ワースト2	24.6	16.3	ワースト2	20.6	8.4	ワースト2	9.9	23.5	ワースト2	29.2
令和2年度	8.9	ワースト5	9.4	18.0	ワースト3	22.0	15.8	ワースト3	18.9	10.2	ワースト3	11.1	8.5	ワースト3	9.6
受診率トップの地区と受診率(2年度)	16.0	牧之原		32.0	牧之原		26.7	牧之原		15.2	地頭方		13.2	地頭方	

※市平均は、牧之原市平均

※順位のワーストとは、最下位から何番目を意味する。

細江区のがん検診の受診率が低迷状態にある。令和1・2年度の市健康推進課の集計をみると、市内全11地区比較でワースト2・3が並び、細江区はどん底状態にあるといえる。(左図参照)

こんな統計データが、国立がん研究センターから公表されている。《日本人が一生のうちにがんと診断される確率は、男性65%、女性50.2%、実に2人に1人の確率》

がんは、根治可能な早期に発見すれば、命を奪われる事はないといわれている。がん検診を受診して、早期発見に努めよう！

(引用：同センター最新がん統計)

次号の「細江区だより」は 5月発行です

細江区事業計画 3月～5月

3月	事業	開催日
3月	会計監査・役員交代引継ぎ	24日(木)
4月	令和3・4年度総会【報告】(事業・予算)【計画】(事業・予算)	4日(月)
4月	交通安全立哨	11日(月)
4月	あいさつ運動実行委員会	27日(水)
5月	あいさつ運動	
5月	細江区内一斉清掃	8日(日)
5月	楽しくクラブ開講式	

最新がん統計

・2018年に新たに診断されたがんは980,856例(男性558,874例、女性421,964例)*
*性別不詳があるため男女の合計が総数と一致しません。
・2019年にがんで死亡した人は376,425人(男性220,339人、女性156,086人)
・2009～2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で64.1%(男性62.0%、女性66.9%)
・日本人が一生のうちにがんと診断される確率は(2018年データに基づく)
男性65.0%(2人に1人)
女性50.2%(2人に1人)
・日本人ががんで死亡する確率は(2019年のデータに基づく)
男性26.7%(4人に1人)
女性17.8%(6人に1人)
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

がん検診の受診率低迷に喘ぐ細江地区。受診率トップの牧之原地区や地頭方地区と、何故こんなにも開きがあるのか？ 誰もが、なぜ？と疑問に思うであろう。市の関係者によれば、トップの地域は、住民同士の声掛けがあるという。どういう事か？ 「あんな、がん検診受けた？ 私は、昨日受けたよ」と言った、気軽な声掛け。こうした言葉のやりとりが、がん検診の啓蒙活動に結びついているのではないかと分析する。利害を共にする、近隣住民のコミュニティの深さの違いが要因の一つとしてあげられる。がん検診に限らず、健康に関する住民による世論形成が必要である。

積極的にがん検診を受けよう
自分や愛する家族の為に